



縁側カフェ代表大和幸子さん



JA上益城トマト部会長 藤原修一さん(右) 知恵美さん夫妻

浦島知事とくまもと夢トーク



浦島郁夫 熊本県知事



会場は終始和やかな雰囲気でした。



町茶振興会長 藤原徳門さん(右)・積子さん夫妻



キャベツの大規模経営を行う 木村隆盛さん(右) 信代さん夫妻

8月5日、山都町で「くまもと夢トーク」が開催されました。「くまもと夢トーク」は、県内各地で地域づくりなどに取り組む方々を浦島知事が訪問し、活動内容や意見を聞いて、県政に生かそうというもので、今年で3年目を迎えます。

この日知事と対談したのは、上の4組の方々。会場となった大和さん宅の縁側カフェを訪れた知事は「初めて鮎の瀬大橋を渡って来たが、とても感動しました。」と景観のすばらしさを絶賛。

4組がそれぞれの取り組みを紹介したあと、有害鳥獣対策など地域が抱える課題などをテーマにして意見交換が行われました。知事からも野菜の栽培方法や価格について質問があり、また、県が取り組むくまもんに使ったくまもとグリーン農業」シンボルマークについて浦島知事が「ぜひ使ってください」とPRする一幕もありました。

この日は山都町のほか、嘉島町と益城町を訪問した浦島知事。最後まで「ここは絶対おすすめ」と菅棚田の広がる景色を眺めていました。

町長室から

甲斐 利幸

ワールドカップでのなでしこジャパンの優勝。混沌とした国政や、国境問題などでの弱腰外交が錯綜するおりに、これほど溜飲が下がる快挙は、近年経験したことがありません。小柄な日本人が、体格で大きく上回るアメリカ人選手相手に得点されるたびに追いつき、つづく延長戦・PK戦を戦う姿に、固唾を飲んでテレビに釘付けになりました。勝利の瞬間には思わず、全身で快哉を叫びました。勝利の女神が加担してくれたのかと思わせる奇跡のゴールでした。「挫けず、粘ること」が素晴らしい結果をもたらしました。

「東洋の魔女」と称され、東京オリンピックで金メダルを獲得した、バレーボール女子を思い出します。監督の指揮の方法には大きな違いがあるものの、目標達成に向かう執念は、どちらもかわりなく、達成感の喜びに浸る瞬間はあらゆる場面に共通するものです。

達成感の仕事においても経験します。役場職員時代から現在に至るまで、相談されたことが困難な事案であればあるほど、それを解決して相手に応えられたときの成就感という喜びを実感することがありました。私心、私情を捨て、公平公正に公務を全うし、ひたすら町民の皆様の福祉向上という目的達成に向かい、その結果が出たときの喜びは、町政を委せられた者にとってのエネルギーとなります。

庁舎建設問題では本当に町民の皆様にご迷惑をおかけしています。困難な用地問題も、解決に向けて、職員とともに懸命に取り組んでいます。公共事業を進める上で、地域の和やまとまりが崩れたり、親戚や友人関係まで壊れてしまいう進め方は本末転倒だと考えます。公共事業の本来の目的は、町民が幸せになるために行うべきで、事業を進めて地域のまとまりを築くことも、その目的として重要であると考えています。

誠実は問題解決の母でもあります。

YOU&YOU通信

Vol.51

★YOU&YOU 第21号カップル誕生★

YOU&YOU 21組目となるカップルが6月に誕生しました。上野秀喜さん・まゆみさんご夫婦(蘇陽地区)です。出合いは、昨年10月の門司港レトロ泊交流会でした。普段とは違う場所での、リラックスした雰囲気の中で、運命の出合いがありました。そんなお二人の出合いに事務局一同大変喜びを感じております。お二人の末永いお幸せをお祈りいたします。



上野秀喜・まゆみ夫妻

★7月交流会紹介★

今回は、山都町内にて陶芸体験&食事会を男女16名の参加のもと行いました。陶芸体験では、おのおの好きな食器等を形づくり、色付けまでの工程を行いました。男女ペアでの陶芸体験は、緊張を忘れさせ、リラックスした時間を与えてくれました。



荒木 博道さん(須原) TEL 82-2682

★結婚相談員を紹介します★
相談員の荒木博道です。今年で、3年目になります。結婚したいそのあなた！参加してみませんか？勇気を持って頑張れば誰でも結婚の可能性が広がります。初めの一步を踏み出しましょう!!

現在、参加者枠が広がり、25歳以上の男女を募集しています。独身の方、ぜひこの会に入会しお互いに頑張っていきたいと思います。幸せは、ぜひ自分の手でつかんでください!!

●お問い合わせ先

山都町役場 浜町事務所 総務課(成瀬・吉田)
【専用電話】090-95651-9589
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you@docomo.ne.jp

自然のなかで暮らす喜び

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

清和地区にある「青葉の瀬」は、緑川本流の上流域にあり、景観に優れ、自然豊かな観光地として人気がある。特に夏は、涼を求めて川遊びやキャンプに訪れる家族客などで賑わう。

矢部郷自然観察会は、平成20年の7月に1泊2日の日程で、ジュニア・レンジャーのリーダー養成合宿を「青葉の瀬」で実施した。リーダー養成プログラムは盛りだくさんの内容で、水生動物の観察や水質調査、シュノーケリングによる魚類観察、水域の両生類調査、カヌー体験、ロープワーク実習などを行った。

夏でも川の水温は低く、しばらく川に潜ったりリーダーたちは震えながら水から上がってくる程だ。指標水生動物による川の水质調査では、「快適な水環境」という判定結果であった。川の流域では、あちらこちらでカジカガエルが美しい声を響かせ、カジカガエルのオタマジャクシも多数確認できた。

二日目には消防署員を招いて、人命救助に役立つロープワークの実技体験を行った。講師の署員の方の見事なロープワークに、リーダーたちは、まるでマジックでも見ているような眼差しだった。実際にロープを使った実技では、思うようにロープが結ばず悪戦苦闘していた。

このリーダーたちが、自然観察会のリーダーとしてだけでなく、社会の中でのリーダーとして育ち、活躍することを願いながら合宿を終了した。

